

2022年



8月

# 草の根

BULLETIN OF THE AICHI COUNCIL AGAINST A&H BOMBS

発行 原水爆禁止愛知県協議会  
発行人 佐竹康行  
〒461-0004  
名古屋市中区葵1-22-26  
Tel(052)932-3219  
Fax(052)931-2651  
gensuikyo@lime.ocn.ne.jp  
毎月1回 6日発行  
月40円/年間480円



## たくさんさんの折り鶴・ペナントに 核兵器廃絶・平和への思い 2022あいち平和行進 まとめ集会

7月17日(日)、民主会館にて「2022あいち平和行進まとめ集会」を行いました。Zoomでの配信も行い、現地とオンライン合わせて40名の参加がありました。会場となった民主会館2階の会議室には、平和行進中やその後に寄せられた

折り鶴とペナントを並べました。折り鶴はあいち平和行進後にも続々と届けられ、先月の「草の根」では18万2000羽と報告しましたが、それから8万羽近く寄せられ26万1552羽となりました。集会では最初に今年のあいち平和行進のまとめとして、行進事務局の佐竹愛知県原水協事務局長から、県内各コースの取り組みを写真で紹介しながら今年の到達や特徴の報告がありました。

各コースのとりくみ交流を行い、稲沢コースは2万8000羽の折り鶴が寄せられたこと、雨が

車道を行進する従来の方法で取り組まれただけでなく、数人で旗やプラカードでアピールしながら歩道を歩く「おさんぽ平和行進」、施設や公園内を歩くコース、当日その場で参加者が「歩きたい」とおさんぽ平和行進を行うなど様々な方法で「歩く」平和行進が行われました。また、行進中に毎日発行しているニュース「あるく」だけでなく、SNSを活用し、より多くの人にあいち平和行進の様子を知らせるために、ツイッターで毎日平和行進の情報を発信しました。ツイッターの投稿は約7万人が閲覧しています。

次に、あいち平和行進共同連絡会の構成団体である「コープあいち」から組合員活動支援部長の石橋さんからあいさつがあり、組合員・職員ともに様々なところで平和行進に関わっていたこと、コープあいちとして「条約参加を求むる署名」を集め1万8000筆が寄せられている事が報告されました。また、被爆者の体験を動画で撮影し、コープあいちのHP・平和アーカイブで公開していることも報告されました。

7月26日、世界大会参加者、事務局含め30名が集まり、2022年世界大会の愛知県代表団結団式を民主会館で行いました。2019、2020



## 原水爆禁止2022年 世界大会成功に向かって 愛知県代表団・結団式

年の世界大会はオンラインのみの開催でしたが、今年は現地開催とオンライン併用で開かれることとなり、3年ぶりの代表団派遣となります。

結団式では、はじめに大村県原水協代表理事が講師となり学習会を行いました。新型コロナ感染拡大の影響によって何度も延期となり、今年6月21日、23日に開催された核兵器禁止条約締約国会議で採択された「ウイーン宣言」と「行動計画」の内容について解説し、また同じく延期されてい



たNPT再検討会議も8月に開催される中で世界大会の意義は、核兵器禁止条約の締約国会議の成果を力に開催、NPT再検討会議の期間中に開催し核兵器廃絶を働きかける、ロシアによるウクライナ侵略に反対し、戦争中止を訴える、核兵器の非人道性を告発、被爆国日本の進むべき道を示す、の5つだと述べ「大会を成功させ、核兵器禁止条約に日本が参加するよう運動を広げよう」と訴えました。

事務局から日程の説明や諸注意の後、愛知県代表団の団長に就任された愛高教の加藤聡也委員長は「愛高教からは世界大会に8名参加する。しっかりと学んで来たい」とあいさつされ、また、12名が参加する新婦人愛知県本部副会長の小池まり子さんは「若い世代の人も参加する。次の世代に運動を継承していきたい」と参加の意気込みを語られました。

降っていて心配だったという尾張旭コースでは、「70名が尾張旭駅前集まってくれた。これだけの人が平和を願っていると思うとうれしかった」と報告されました。ペナントを90本普及した春日井コースや日進・長久手、



大治・甚目寺コースからも行進の報告がされました。最後にうたごえのみなさんが「折り鶴」「青い地球を」「青い空は」の3曲を歌い、あいち平和行進まとめ集会は終了しました。



# 被爆者の思いを受け継ぎ より一層の支援を 被爆者支援ネット総会

記念講演講師の  
← 直野章子さん



7月23日、2022年  
あいち被爆者支援ネット  
ワーク総会が保険医協会  
伏見会議室で行われまし  
た。24名が参加し、直野  
章子さん(京都大学人文  
科学研究所准教授)の記  
念講演、樽井弁護士から  
原爆症認定訴訟の報告、  
支援ネット事務局から活  
動報告、財政報告が行わ  
れました。

「ウクライナ戦争勃発  
後に平和と被爆体験の継  
承を考える」と題し行わ  
れた記念講演で直野さん  
は「核兵器の使用をちら  
つかせるプーチン大統領  
の発言や、破壊されたウ  
クライナの街の映像を見  
て、被爆者、戦争体験者  
はともショックを受けて  
いる」と話されました。



次に、原爆症認定訴訟  
愛知弁護士団の樽井弁護  
士から原爆症認定訴訟の経  
過と課題について報告が  
ありました。松谷訴訟など  
の個別の裁判から、集  
団訴訟、ノーモアヒバク  
シャ訴訟と30年近く被爆  
者が原爆症認定を求め裁

ロシアのウクライナ侵略  
が始まってから一部の政  
治家が発言している「核  
共有」について、NATO  
と同じような核共有を  
求めているのなら「核攻  
撃を行う意思、能力、体  
制」が必要となり、日米  
合同での核攻撃訓練はも  
とより、本当に使用する  
となった場合には自衛隊  
機に核ミサイルを搭載し  
自衛隊員が核ミサイルを  
撃つこととなると話され  
ました。さらに「国内に  
核兵器を配備することと  
なり、攻撃を受けるリス  
クも共有することになる」  
と語られ、出力を抑えた  
小型の核兵器、いわゆる  
『使える核兵器』につい  
ても「いくら最初は限定  
的といっても、エスカレ  
ートしていけば大型の核兵  
器の打ち合いとなり、人  
類は破滅してしまふ。そ  
れを防ぐには、やはり核  
廃絶しかない」と話され  
ました。

判で闘ってきた歴史を振  
り返りながら、裁判を通  
じて放射線被ばくの深刻  
さ、非人道性を明らかに  
してきたことは原爆症認  
定訴訟の一つの意義と語  
られました。しかし、日  
本政府が原爆被害の実態  
を踏まえず矮小化してい  
ることは明らかで、被爆  
者が裁判を起こさなけれ  
ば原爆症として認定され  
ないという問題ははまだ  
に残っていると話されま  
した。



石井さんの講座には過  
労自殺被災者のご遺族2  
名が参加され、電通に入  
社し過労自殺した高橋ま  
つりさんの母、幸美さん  
はまつりさんの生い立ち  
や電通へ就職してからの  
SNSへの投稿を紹介し  
ながら、過酷な長時間労  
働が続く中で死を選ばざ  
るを得なかったまつりさ  
んの気持ち、止められな  
かった自身の後悔などを  
語られました。特にツイッ

支援ネットの活動報告  
では、愛友会の活動であ  
る被爆者相談会、偲ぶつ  
どい、被爆者行脚、原爆  
絵画展などへの支援の他  
支援ネットとして被爆者  
を励ますつどい、被爆者  
訪問などの支援活動、金  
山駅での原爆パネル展、  
被爆体験を語るための学  
習会など被爆の実相を伝  
え、継承していくための  
活動を行ったことが報告  
されました。

## 高校生平和ゼミナール 広島&沖縄 平和ツアー サマーセミナーにて知らせる

8月4日〜6日に世界  
大会と全国高校生平和集  
会に参加する「高校生平  
和ゼミナールヒロシマツ  
アー」と、27日〜29日の  
「沖縄平和ツアー」の宣  
伝を愛知サマーセミナー  
で行いました。昨年と同  
じく同朋高校の宮城さん  
に協力していただき、石  
井拓児さん、琉球大学の  
山口剛史教授、高校生が  
戦争について考える講座  
コープあいちの被爆体験  
を聞く講座の4つの講座  
でツアーのチラシ200  
枚を配布しました。

現在、ヒロシマツアー  
には4名、沖縄ツアーに  
は7名の中高生の参加が  
決まっています。また後  
日、お互いのツアーの報  
告会ができないか検討中  
です。この夏を機に、高  
校生平和ゼミナールの再  
始動を目指し、中高生が  
平和について考え、学べ  
る場所を整えようと準備  
しています。

**原爆犠牲者を偲ぶつどい**  
日時 9月17日(土) 13時  
会場 名古屋市公会堂 4階ホール  
どなたでも参加いただけます。  
※つどいへの参加だけでなく、会場設営などの  
要員としての参加もよろしくお願ひします。

**あいち平和のための  
戦争展**  
8月11日(木)〜14日(日)  
10:00〜17:00  
(15日は17:00で終了)  
会場:市民ギャラリー矢田  
入場料:一般 500円  
高校生以下・障がい者(介助  
者含む)は無料  
※展示内容、企画などは戦争展のHPで  
※感染症対策へのお願い  
・マスク着用  
・入場時に検温  
・手指の消毒  
にご協力ください

## 金山駅コンコース 「原爆と人間」パネル展

今年も金山駅で原爆と人間展を開催します。「生きているうちに核兵器の廃絶を」の被爆者の思いを実現するためにも、多くの市民に被爆の実相を伝えましょう。「高校生が描いたヒロシマ原爆の絵画展」も合わせて展示します。

日時: 8月20日(土) 10:00〜20:00  
21日(日) 9:00〜20:00  
場所: 金山駅コンコース

☆カンパのお願い  
金山駅のコンコースイベント広場の使用やパネルボード設営のために50万円近くの費用がかかっています。ご協力をお願いします。  
郵便振替 00880-7-68513  
被爆者支援ネット

